

平成24年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	地域営農再生推進事業	事業コード	1396
-----	------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	1033
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)		711

PLAN(計画)	部署名	農林政策課	開始年度	1968	終了年度	9999
	目的	平成23年度から本格実施された農業者戸別所得補償制度による食と地域の再生に向けて、水田利用の高度化・生産性の向上のため、水稲と麦・大豆等を組み合わせた水田農業の体質強化を図ることを目的とする。				
	概要	転作および周年作付けを推進・振興することで、米の適正な需給調整の実施と農用地の有効利用を図る。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営	内容 戸別所得補償制度で確認した表作の大麦、大豆、野菜等および周年作の大豆、ソバ等に対し、市が作付け実績に応じた補助金を交付する。		

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	麦・大豆・そばの団地化による作付け		ha	目標値	410	410	410	410	410
				実績値	314	312			
	計算根拠	農業者戸別所得補償制度による面積		達成率(%)	76.6	76.1			
				ランク	C	C			
			実数値						

事業費/千円	区分	H23(2011)	H24(2012)	事業委員	正規職員	0.8	タイプ	会計	一般会計
	予算額	32,920	32,330		臨時・嘱託			事業タイプ	単独事業
	決算額	32,920			※所要時間			経費区分	補助費等
	繰越額	0	0						

平成24年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK (評価)	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	市全体の調和の取れた農業の発展を図り、農地の荒廃を防ぎ、地域環境の保全が必要とされている。	
	【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	市全体の調和の取れた農業の発展を図るために必要。	
	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体 事業名		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課 事業名		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	今後当分の間、生産調整の拡大により、水稲以外での農地の利用必要面積が増加しているため。	
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	生産調整関係の面積助成のため、受益者負担を求めるものでもなく、国は産地確立交付金などの手当てをしているため。	
【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	集落の合意により、調整水田、自己保全等の不作付けでの生産調整から、麦・大豆・そばでの生産調整への切り替えが図られれば成果は向上する。		

ACTION	【平成24年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>	【平成25年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成24年度取組み 周年作の作物については、本市の土壌の特性、農家の作業体系等から主な作物としては大豆、ソバが作付けされ、その他にはブロッコリー等の野菜、さばえ菜花、コスモス等の景観作物などが作付けされているが、今後も県、市、JAによりブランド化や農家所得の向上につながる作物の栽培についての研究に努めることで、転作および周年作付けを推進・振興し、米の適正な需給調整の実施と農用地の有効利用に取り組む。	平成25年度計画 周年作の作物については、本市の土壌の特性、農家の作業体系等から主な作物としては大豆、ソバが作付けされ、その他にはブロッコリー等の野菜、さばえ菜花、コスモス等の景観作物などが作付けされているが、今後も県、市、JAによりブランド化や農家所得の向上につながる作物の栽培についての研究に努めることで、転作および周年作付けを推進・振興し、米の適正な需給調整の実施と農用地の有効利用に取り組む。

【H25提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>						〈不可能選択理由〉 <input type="text" value="その他"/>
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	
取組選択	-	不可能	不可能	不可能		
実施状況	-	未実施	未実施			